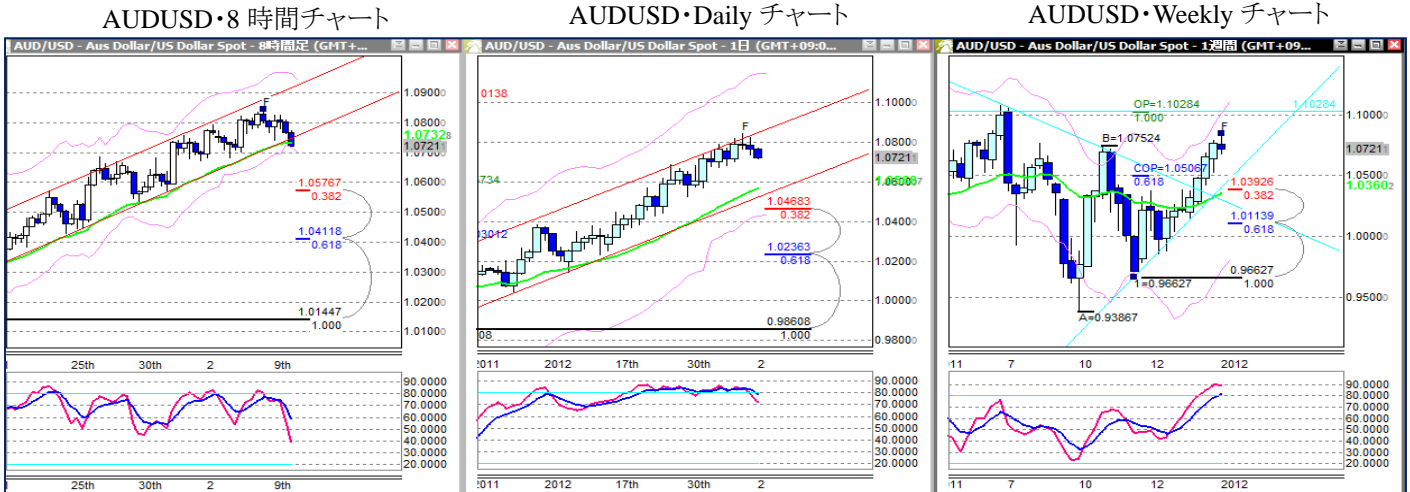


資源国・リスク通貨 来週の為替見通し(1. AUDUSD、2. USDCAD、3. NZDUSD) 2月10日(金曜)午後3時現在

1. AUDUSD 来週の予想レンジ 1.0580~1.0855 中期予想レンジ 1.0350~1.1000

1. ギリシャ第2次支援の合意ができ、リスクアセットの買いになるのか、合意できず、リスクアセットの売りになるのか、見極めが必要。
2. 連騰後のポジション調整が入りやすくなっている
3. テクニカルでは全般的にベアなシグナルが多くなっているが、長期的な流れの変更にはなっていない。



期間	25 指数移動平均線	DiNapoliオシレータ・ ブレディクター		スロー・ ストキャスティック		トレンド	サポート 1.	サポート 2.	レジスタンス 1.	レジスタンス 2.
		DOPup	DOPdn	%K	%D					
AUDUSD・8時間チャート	1.0732	1.0964	1.0719	38.99	59.15	↓	1.0719	1.0577	1.0913	1.0964
AUDUSD・Dailyチャート	1.0568	1.1148	1.0428	70.75	78.34	↓	1.0580	1.0535	1.0855	1.1148
AUDUSD・Weeklyチャート	1.0360	1.1018	0.9720	88.76	81.91	→	1.0360	1.0114	1.1018	1.1028

先週金曜日(2月3日)、米雇用統計では失業率が改善し、非農業部門雇用者数は増加し、さらに、米非製造業PMIは1年半ぶりの高水準となり、株価は上昇、リスクアセットは急上昇、AUDUSDは1.0768の高値水準で終了した。

今週は、週初めの6日(月曜)は1.0755で取引が始まり、昨年9月1日の高値(終値)1.0764を上回り、8日には1.0844まで上昇した。6日にTDセキュリティーズ・インフレは前年比2.2%(前回2.4%)と中銀ターゲット近くまで低下し、第4四半期の小売売上高も前期比-0.1%(予想0.1% 前回0.1%)と弱く、一時1.0683まで値を下げたが、ロンドン・フィキシングのドル売りに再び上昇。7日には豪中銀は市場予想に反して政策金利4.25%の据え置きを決定し、1.08台まで上昇。8日にユーロ圏財務相会合の開催が決定され、1.0840台まで上昇したが、EURAUDも7日の1.2137で反転上昇し、AUD売りの要因となり、1.0850をブレイクできず売りの流れへ変化、9日には中国消費者物価指数が予想を上回り、預金準備率の引き下げ観測が弱まり、1.08を割り込み、ユーロ圏財務相会合ではギリシャ第2次支援策の最終合意はなかったが、ギリシャ連立与党間で合意がみられ、1.08近辺で取引が続いた。

来週は、ギリシャ第2次支援策が無事実施され、それに伴い、リスク資産の上昇が続き、AUD高の恩恵を受けることができるのか注目したい。メインシナリオとしては、ギリシャ支援策の決定に、リスク資産が買われ、AUD高の動きになり、1.09を超え1.10のピクポイントを試す動きが考えられる。リスクシナリオとしては、1.10の壁は厚く、1.09台から利食い売りが多くなり、1.09台を達成できないうちに、20日米国市場は休日となり3連休前にポジション調整の売りが強まり、ギリシャ第2次支援策が決裂し、リスクオフの流れに、1.07を割り込む可能性もある。経済指標では、15日のウェストパック消費者信頼感、2月16日の失業率が注目され、主要国の経済指標では、15日にBOEのインフレ報告書、FOMC議事録、独第4四半期GDP速報値、17日には消費者物価指数の発表があり、重要となっている。

8時間チャートは、EMA1.0732と、上昇トレンドラインの下限を割り込み、売りの流れに変化。ストキャスティクスも売りを示唆しており、ダウンサイドのリスクが高くなっている。上値のポイントは1.0913、1.0964、下値のポイントは1.0719、1.0577。

Dailyチャートは、EMA1.0568で上昇トレンドを続けているが、上昇トレンドの上限で上げ止まり、売りへ変化している。ストキャスティクスも売りの流れに変化しダウンサイドリスクが高くなっている。上値のポイントは1.0855、1.1148、下値のポイントは1.0580、1.0535。

Weeklyチャートは、EMA1.0360で、引き続き上昇トレンドが続いている。ストキャスティクスは買いから売りへ変化する兆しもあり、ロングポジションの巻き戻し始まる可能性も残っている。上値のポイントは1.1018~28、1.1872、下値のポイントは1.0360、1.0114。

資源国・リスク通貨 来週の為替見通し(1. AUDUSD, 2. USDCAD, 3. NZDUSD) 2月10日(金曜)午後3時現在

2. USDCAD 来週の予想レンジ 0.9890~1.0050 中期予想レンジ 0.9750~1.0080

1. ギリシャ第2次支援の合意ができ、リスクアセットの買いになるのか、合意できず、リスクアセットの売りになるのか、見極めが必要
2. 続落後のポジション調整の買いが入りやすい
3. テクニカルでは全般的にブルなシグナルが多くなっているが、長期的な流れの変更にはなっていない。

USDCAD・8時間チャート

USDCAD・Dailyチャート

USDCAD・Weeklyチャート



期間	25 指数移動平均線	DiNapoliオシレーター・ プレディクター		スロー・ ストキャスティック		トレンド	サポート 1.	サポート 2.	レジスタンス 1.	レジスタンス 2.
		DOPup	DOPdn	%K	%D					
USDCAD・8時間チャート	0.9973	1.0019	0.9855	46.08	36.56	↑	0.9923	0.9855	0.9991	1.0032
USDCAD・Dailyチャート	1.0048	1.0205	0.9745	26.38	21.35	↑	0.9891	0.9745	1.0048	1.0146
USDCAD・Weeklyチャート	1.0087	1.0582	0.9793	15.30	26.44	↓	0.9884	0.9405	1.0087	1.0180

先週金曜日(2月3日)、カナダの失業率が弱く、米雇用統計は非常に強く、米非製造業PMIは1年半ぶりの高水準となり、株価は上昇、リスクアセットは急上昇、USDCADは米雇用統計の影響強は強く受けて1.0のパーティを割り込み0.9932で終了した。

今週は、週初めの6日(月曜)は0.9945で取引が始まり、6日~9日に渡り0.99台の上下を試し、0.9924~0.9994のレンジで推移し、上値も重く、下値の堅く、方向感の定まらない展開が続いた。ギリシャ第2次支援が実施される可能性が高まり、ユーロを離脱する可能性や、デフォルト・リスクが薄らぎ、CAD買いが期待されたが、市場参加者は予想以上に慎重に対応している。EURCADは1.30を下限に1.3120台まで上昇していることも、USDCADの底値を固くしていた。経済指標では、6日のIveyPMIは61.1(予想59.7 前回63.5)と予想を上回り、0.99台での推移が続き、7日の住宅建設許可が前月比11.1%(予想1.0% 前回-2.6%)と4年半ぶりの高水準、8日の住宅着工件数は前月比19.79万件(予想19.15万件 前回19.99万件)と予想より強く、9日の新築住宅価格指数は前月比0.1%(予想0.2% 前回0.3%)とやや弱い数字となった。

来週は、ギリシャ第2次支援策が無事実施され、それに伴い、リスク資産の上昇が続き、CADドル高の恩恵を受けることができるのか注目したい。メイン・シナリオとして、ギリシャ第2次支援が決定的になれば、今週続いている0.99~1.00のレンジ相場の下限を割り込み、0.98がターゲットになるが、昨年10月27日=安値0.9891、10月28日=安値0.9894は重要なポイントとなり、当時は終値ベースでは0.99台まで値を戻し、来週もこの水準が大きな抵抗ラインになりそうである。リスク・シナリオとしては、ギリシャ第2次支援が決裂し、リスクオフの流れや、20日米国市場は休日となり3連休前のUSDCADのショートカバーに1.00を再び上抜け、1.00~1.10の水準に逆戻りする可能性も考えられる。来週の経済指標では、カナダ国内では主要な経済指標の発表はないが、主要国の経済指標では、15日にBOEのインフレ報告書、FOMC議事録、独第4四半期GDP・速報値、17日には消費者物価指数の発表があり、重要となっている。

テクニカル

8時間チャートは、EMA0.9973でこれを上限に上げ度まっている。トレンドラインの上限を超えていないが、ストキャスティクスは買いに変化し、1.00を上回ってくれば買いの流れが強まりそうである。上値のポイントは1.0000、1.0032、下値のポイントは0.9923、0.9793。

Dailyチャートは、EMA1.0048でこの水準を上限し下降トレンドが続いている。下降トレンドの下限で下げ止まり、ストキャスティクスは買いに変化している。上値のポイントは1.0051、1.0061、下値のポイントは0.9891、0.9745。

Weeklyチャートは、EMA1.0087でこの線を上限に売りの流れが続いている。ストキャスティクスは売りを継続し、長期的な下落トレンドが続いている。上値のポイントは1.0179、1.0582、下値のポイント0.9884、0.9793。

資源国・リスク通貨 来週の為替見通し(1. AUDUSD、2. USDCAD、3. NZDUSD) 10日(金曜)午後3時現在

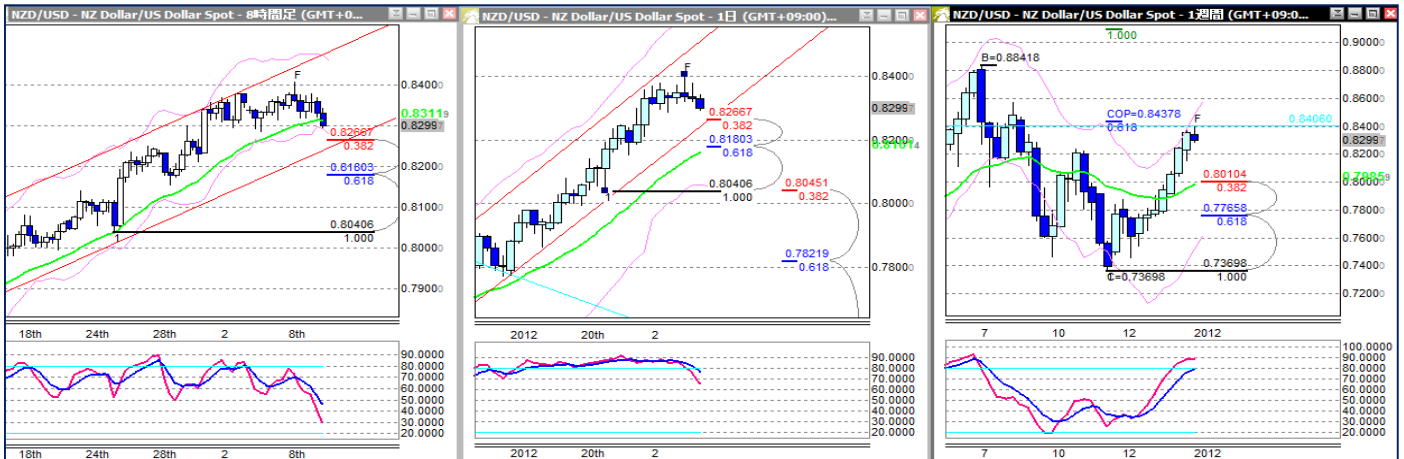
3. NZDUSD 来週の予想レンジ 0.8180~0.8450 中期予想レンジ 0.8050~0.9100

1. ギリシャ第2次支援の合意ができ、リスクアセットの買いになるのか、合意できず、リスクアセットの売りになるのか、見極めが必要
2. 緩やかなポジション調整の売りが入りやすい
3. テクニカルでは短期でベアなシグナル見られるが、長期的な流れの変更にはなっていない

NZDUSD・8時間チャート

NZDUSD・Daily チャート

NZDUSD・Weekly チャート



期間	25 指数移動平均線	DiNapoliオシレーター・ ブレディクター		スロー・ ストキャスティック		トレンド	サポート 1.	サポート 2.	レジスタンス 1.	レジスタンス 2.
		DOPup	DOPdn	%K	%D					
NZDUSD・8時間チャート	0.8312	0.8473	0.8294	30.69	46.36	↓	0.8267	0.8180	0.8406	0.8473
NZDUSD・Dailyチャート	0.8162	0.8602	0.8058	66.03	76.67	↓	0.8267	0.8180	0.8406	0.8573
NZDUSD・Weeklyチャート	0.7986	0.8486	0.7524	88.83	80.28	↑	0.8010	0.7766	0.8438	0.9098

先週金曜日(2月3日)、米雇用統計は非常に良い数字となり、米非製造業 PMI は1年半ぶりの高水準となり、株価は上昇、リスクアセットは急上昇したが、NZDUSD は小幅な上昇とどまり 0.8356 で終了した。

今週は、週初めの6日(月曜)は0.8339で取引が始まり、昨年10月28日の高値0.8226を上抜けてから、NZDUSDの買いの流れが続き、他の主要通貨に先駆けドル売りが始まった。2月2日(木曜)から現在までのレンジは0.8295~0.8406で、ほぼ0.83~0.84の狭いレンジに終始し、注目されているギリシャ第2次支援策を巡る、欧州の動きにも余り影響を受けず、リスク資産上昇の恩恵もあまり受けることもなかった。AUDNZDは1.2830台を底値に下げ止まり、1.29台へ上昇したことが、NZD売りに結びつき上昇力を鈍くしていた。経済指標では7日に第4四半期の民間貸金は前期比0.7%(予想0.5 前回0.5%)と強く内容にも動きは鈍く、9日の第4四半期の失業率は6.3%(予想6.5% 前回6.6%)と低下したが、就業者数が前期比0.1%(予想0.4% 前回0.2%)と少なく、相殺され相場への影響はなかった。

来週は、ギリシャ第2次支援策が無事実施され、それに伴いリスク資産の上昇が続き、NZDドル高の恩恵を受けることができるのか注目したい。来週は0.83~0.84レンジをどちらの方向に抜け出すかで相場の方向性が決まってくると思われる。メイン・シナリオは、ギリシャ第2次支援が実施され、引き続きブル相場で、ポジション調整後にトレンドに沿った上昇が続き、レンジも0.84~0.85にスライドすることが考えられる。リスク・シナリオとしては、ギリシャ第2次支援の失敗によるリスクオンの流れや、20日は米国市場が休場となり、3連休前のNZDロングポジションの調整売りに、下値を試す可能性も考えられ0.8250までの下落の可能性がでてくる。

経済指標では15日に第4四半期の小売売上高、16日に2月の消費者信頼感指数の発表があり、注目される。主要国の経済指標では、15日にBOEのインフレ報告書、FOMC議事録、独第4四半期GDP・速報値が重要となっている。

テクニカル

8時間チャートは、EMA0.8312で、この水準を割り込み売りの流れへ変化している。引き続き上昇トレンドの下限は維持されているが、ストキャスティクスは売りへ変化している。上値のポイントは、0.8406、0.8473、下値のポイント0.8267、0.8180。

Dailyチャートは、EMA0.8162で、引き続き上昇トレンドが続き、トレンドラインも下限を維持して買いの流れが続いている。ストキャスティクスは売りへ変化している。上値のポイントは0.8406、0.8573、下値のポイントは0.8267、0.8180。

Weeklyチャートは、EMA0.7986で上昇トレンドが続いている。ストキャスティクスも買いを示唆しながらも、変化のする兆しがある。上値のポイントは0.8438、0.9098、下値のポイントは0.8010、0.7766。

USD=米国、JPY=日本、GER=独、GBP=英国、CAD=カナダ、AUD=豪州、NZD=ニュージーランド、
CHF=スイス、NOK=ノルウェー、SEK=スウェーデン、CHN=中国、FFR=フランス。為替レート・金・原油価格は GFT 社の取引レート。
本レポートで言及している市場予想の出所=fx360.com、ロイター社、ブルームバーグ社。各国経済指標・日時の出所=fx360.com、ブルームバーグ社

外国為替保証金取引(FX)及びCFDには、高いレベルのリスクが潜在しており、全てのお客様に適した投資商品とは言えません。高いレベルのレバレッジは、利益ももたしますが、損失ももたします。預託した資金を超えて損失を被る可能性もあるため、損失に耐えられない金額を投資するべきではありません。過去のパフォーマンスが、必ずしも将来の結果を示唆しているわけではありません。

本レポートの内容は

- 情報提供の目的にのみ供されるものとし、いかなる投資商品の提供・勧誘その他法的に拘束され得る行為、また、それら投資商品の推奨、助言等を意図したものではありません。
- マーケットに関する意見・予想はその正確性や完全性についてそれらを保証するものではありません。
- レポート著者の予想・意見は必ずしも、弊社及び弊社関係者の見方を反映したものではありません。
- 筆者によって提供される市場に関する如何なる予測や見解についても、その正確性が検証されている訳ではありません。
- 当社は本レポートの内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

GFT はお客様への一般的な情報として本資料を提供していますので、投資判断を行う際の詳細な独自調査に代えて本資料に依拠することはお控えください。

GFT は、本資料に含まれる情報に基づいた投資の結果として発生した損害に対して、如何なる責任も負いません。また、投資、法律、会計、税務、またはその他の専門的助言についても、一切提供することはありません。これらの専門的助言が必要な場合は、専門家にご相談ください。

同支店は、日本においては、グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッドとして第一種金融商品取引業者登録(関東財務局長(金商)第268号)および商品先物取引業者許可を取得しており、社団法人金融先物取引業協会および日本商品先物取引協会の加盟業者です。www.gftforex.co.jp

© 2011 グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッド 著作権/著作権所有。無断複写・複製・転載を禁ず。

CD08J.005.113011